

研究者情報

フリガナ 氏名	アサクラ ヒトシ 朝倉 和	職名/学位	教授/博士(文学)
所属 学科	一般教科	所属学会	中世文学会, 和漢比較文学会, 広島大学国語国文学会
専門 分野	・日本文学, 中国文学 ・仏教学(禅宗)	利用可能な 設備等	特になし

研究テーマ

- ・瀬戸内近郊地域に関する文学研究
- ・五山文学研究

瀬戸内近郊地域および禅僧に関する文学研究

①瀬戸内近郊地域に関する文学研究

本校が位置する大崎上島は、瀬戸内海に浮かぶ芸予諸島の1つである。古来から瀬戸内海は交通の要衝であり、様々な人々が行き来している。各時代の人々の目に、瀬戸内島嶼部とその周辺地域は、いったいどのように映っていたのだろうか。『万葉集』、『源氏物語』、『平家物語』、『とはずがたり』、若杉慧(1903-87)の『エデンの海』等を、文学研究や国語教育の対象とすることにより、この地域の特徴を発見・再認識し、瀬戸内近郊地域や学生自身の生まれ故郷に対する愛着や思いやりを養成する取組を続けている。



②五山文学の研究

「五山文学」とは、鎌倉・室町時代に五山派の禅僧によって作成された漢詩文や、漢籍の注釈を核とする文学・学問活動を言う。禅宗が我が国の国民や文化(文芸・芸能・絵画・茶道・建築・庭園等)にもたらした、主に精神的な側面における影響には、はかり知れないものがある。将来的にはその全容解明を目指しているが、現段階では、「五山文学の双璧」の一人である絶海中津(1336-1405)や、五山詩の総集である横川景三撰『百人一首』や『花上集』を研究するとともに、「『翰林五鳳集』の基礎的研究」という研究題目で科学研究費を獲得している。

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

- ・文学作品を通して、瀬戸内島嶼部とその周辺地域の新たな魅力を発見したり、忘れられがちな長所を再認識できる。
- ・瀬戸内近郊地域や自身の生まれ故郷に対する愛着や思いやりが養成される。
- ・禅僧や『徒然草』の兼好法師をはじめとした中世知識人の、物の見方・考え方・感じ方を知ることにより、多様な価値観や人間的な幅の広さを実感し、実社会の中で活かすことができる。生きるヒントが見付かる。

提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	不可	不可